

第2号様式

令和5年度第2回法務省入札監視委員会審議概要

開催日時及び場所	令和5年10月26日(木) 13:15~14:50 法務省共用会議室3 (大臣官房施設課旧入札室)	
委員	只木 誠 (大学教授) ※委員長 黒澤 正明 (公益社団法人監事) 遠藤 和義 (大学教授)	
審議対象期間	令和5年4月1日から令和5年7月31日まで	
抽出案件	総件数 115件	(備考)
工 一 般 競 争	75件	
標 準 指 名 競 争	0件	
事 随 意 契 約	21件	
業 簡 易 公 募 型 プ ロ ポ ー ザ ル 方 式	1件	
一 般 競 争	13件	
簡 易 公 募 型 競 争	1件	
務 標 準 指 名 競 争	0件	
随 意 契 約	4件	
	意見・質問	回 答
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	別紙のとおり	別紙のとおり
	具申又は勧告	回 答
委員会による意見 具申又は勧告の内容	なし	なし

意見・質問	回答
<p>1 工事の発注状況について 意見・質問なし</p>	
<p>2 業務の発注状況について 意見・質問なし</p>	
<p>3 応札者が一者であった契約について 意見・質問なし</p>	
<p>4 指名停止の運用状況について 意見・質問なし</p>	
<p>5 工事抽出案件について</p> <p>(1) 令和4年度宮城刑務所構内整備工事 前回の入札が不調となったことを受けて、今回の入札では、競争参加資格の等級を広げたとのことだが、入札参加者を増やすために行っていることは他に何かあるか。</p> <p>(2) 熊本刑務所職員宿舎構内整備工事 なし</p> <p>(3) 令和4年度富山刑務所第2舎等耐震改修工事 入札参加者のうち3者が辞退しているが、全ての辞退者に辞退理由を聴取できないか。 辞退を踏まえた今後の不調対策の参考になるのであれば、競争参加資格を確認した後の辞退者には、辞退理由を聴取するという方法もあるのではないか。</p> <p>(4) 大阪拘置所新営（建築）第3期工事（第5回変更） 当初契約の発注時に別途工事とし</p>	<p>現地庁の事例として、入札公告の掲示場所を増やすなどして、入札参加者の確保に努めている。本省では、入札公告と同時に登録者宛てにメールで通知されるサービスを導入している。</p> <p>なし</p> <p>本省発注案件であれば、次回の参考として辞退理由を確認することもあるが、現地契約案件について、辞退理由の確認を求めるような指導は行っていない。</p> <p>変更契約を行う際には、事前に受注</p>

<p>ていたものを今回の変更契約で工事範囲に加えたとのことだが、最近は業界全体に無理が利かなくなっているようなので、変更工事であっても、受注者側が変更契約に応じず、工事が完成しないということも起こりうるのではないか。</p>	<p>者と十分に協議を行っているため、これまでに問題は生じていないが、御指摘のような事態が生じないよう、今後也十分に留意したい。</p>
<p>6 業務抽出案件について</p> <p>(1) 令和4年度広島拘置所仮庁舎設計業務 なし</p> <p>(2) 令和4年度熊本刑務所京町拘置支所構内整備工事監理業務 なし</p>	<p>なし</p> <p>なし</p>